

北急延伸・関連まちづくり等連携協議会 設立趣意書

北大阪急行線延伸計画は、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として、近畿地方交通審議会答申第8号（平成16年10月）に位置付けられている。その事業実現化に向けた検討については、学識経験者をはじめ関係者で構成する北大阪急行線延伸検討委員会においてとりまとめた整備計画案（平成21年11月）を踏まえ、関係者とともに行っている。

一方で、延伸線周辺のまちづくりに関する新たな動きとして、まちの更新期を迎えつつある箕面船場地区において、卸商業団地の再整備に向けた検討会が立ち上がるなど、本格的な検討が始まったところである。

また、箕面市において、徒歩・自転車・自動車・公共交通の適正な分担を図るため、平成23年度に総合的な都市交通戦略を策定することとしている。

このようなことから、北急延伸をはじめとする交通施策と関連するまちづくり施策を相互に連携するとともに、総合的な都市交通戦略やまちづくりの方向性を踏まえ、公共交通の利便性向上やまちづくりによる地域活性化などの一体的な推進を図っていくため、関係者が協議・検討する場として、北急延伸・関連まちづくり等連携協議会を設立するものである。

平成23年3月吉日